

## 総合職試験 社会学

問4 次の(1)～(3)の中から1つを選んで解答しなさい。なお、選んだ問題の番号を文頭に記載すること。

- (1) インターネットが普及した結果、不特定多数の人々が同時にコミュニケーションの受信をおこなうことができるようになり、「サイバーカスケード」と言われる現象が起こるようになってきた。サイバーカスケードとはどのような事象のことをさし、なぜそのようなことが起こるか論じなさい。また、そのような事象にいたる技術的要因のひとつとして指摘される、検索における「フィルターバブル」についても説明しなさい。
- (2) 立場の弱い人々を社会的に包摂するために労働と福祉を関連づけていく社会政策を大きく対照すれば、「ワークフェア」と「アクティベーション」に対比することができるが、これらの政策が登場してきた背景を論じつつ、この2つの政策の方向性と長所・短所について各々論じなさい。
- (3) 家族を構造や制度に従う存在としてとらえるのではなく、家族の能動性・主体性を想定する概念として「家族戦略」がある。家族戦略とはどのようなことをさし、具体的な戦略としてどのようなものがあげられるか論じなさい。また、戦略の主体を家族ととらえるか、個人ととらえるかの区別が重要となってきたが、その理由と、その区別によりどのような点の理解を深めることができるか説明しなさい。